

広報

ただみ

おめでとう

4
2024 月号
No. 647
令和6年4月10日



今月の表紙

【令和5年度満了児】

さくら組の皆さん、満了おめでとうございます。小さいお友達の面倒を見たり、おうちの人や先生の言うことをしっかり聞ける皆さんは、立派なお兄さんお姉さんです。小学校でもみんな仲良く、頑張ってください。

《特集》

- 卒業式・満了式…………… 2～3
- 雪まつりフォトコンテスト
- 入賞作品・ミニ雪像紹介… 4～5
- 令和6年度当初予算…………… 6～7
- 《News&flash》…………… 9
- 《町の話》…………… 10～11



只見高校・卒業式

県立只見高校の卒業式は3月1日に行われ、29人（内山村教育留学生5人）が卒業を迎えました。式では、卒業生を代表し酒井怜斗さんが卒業証書を受け取った後、小杉美菜さんが在校生を代表し送辞を送りました。卒業生代表答辞は、鈴木莉子さんが務め、家族や先生、後輩に感謝を伝えると共に、「忘れることのできない大切な時間を過ごしました。皆さんと同じ学校で良かったです」と同級生にも感謝を伝えました。



▲代表して証書を受け取った酒井さん



▲卒業おめでとうの笑顔



▲卒業生を代表し答辞を述べた鈴木さん

感謝の心と新たな希望を胸に学び舎を巣立つ

3月、町内の高校・中学校・各小学校の卒業式と各保育所の満了式が行われ、子どもたちが学び舎などを巣立ちました。校長式辞や卒業生代表答辞では、子どもたちが思い出を振り返り涙する姿も見られました。また子どもたちは、家族や先生、お世話になった人に感謝の思いを伝え、恩師や仲間、学び舎に別れを告げました。



▲答辞を述べる三瓶さん

只見中学校・卒業式

只見中学校の卒業式が3月13日に行われ、33人が学び舎に別れを告げました。式では、伊藤校長から激励の言葉とともに全員に卒業証書が手渡され、その後山内丈大さんが在校生を代表して送辞を送りました。卒業生を代表して三瓶蒼有介さんが「数えきれないほどの思い出が昨日のここのように思い出されます。最初は不安でしたが、皆と過ごした3年はあっという間でした。宝物のような思い出を大切にこれからも頑張ります」と答辞を述べました。



▲これからも自分の夢のために頑張ってください。



▲後輩との別れに涙する卒業生たち



▲明和小学校卒業生の皆さん

小学校・卒業式

3月22日、町内各小学校の卒業式が行われ、只見小11人・朝日小7人・明和小7人がそれぞれ卒業を迎えました。朝日小では、卒業生全員が齋藤校長から卒業証書を受け取り、中学校生活の目標や将来の夢などを発表しました。その後、1人ずつ家族に花を手渡し、感謝の言葉を伝えました。卒業生の別れの言葉では、6年間の思い出とともに後輩や先生、保護者に感謝の言葉が述べられました。



▶朝日小学校卒業生のみなさん



▶只見小学校卒業生のみなさん

令和5年度

卒業式・満了式

保育所・満了式

3月25日、町内各保育所の満了式が行われ、只見保育所10名・朝日保育所5名・明和保育所13名の園児がそれぞれ満了となりました。

証書を受け取った園児たちが保護者に向けて「パパ、ママ、いつも楽しく遊んでくれてありがとう！」など感謝の思いを伝えました。最後は、花束を手にとり1人ずつ立派に退場し、保護者の皆さんが子どもたちの成長を肌で感じる満了式となりました。



▲只見保育所満了児のみなさん



▶明和保育所満了児のみなさん



▶朝日保育所満了児のみなさん

第51回只見ふるさとの雪まつり フォトコンテスト入賞作品介绍

第51回只見ふるさとの雪まつりフォトコンテスト及びミニ雪像コンテストの入賞作品を紹介します。

フォトコンテストは応募総数76点から9点が入賞しました。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。



只見町長賞

「梁取神楽最高潮」

児山剛(南会津町)



審査員特別賞

「記念写真@龍の雪像」

遠藤剛(郡山市)



優秀賞

「雪山照らす大輪の花」

亀岡隆憲(桑折町)



優秀賞

「雪祭りフィナーレ」

高橋善樹(喜多方市)



入選

「ブナりん登場!!」

矢部幸一(須賀川市)



入選

「祭り 親子3代」

善養寺新一(埼玉県上尾市)



入選

「万華鏡」

神尾彰(山形県米沢市)



「静かにフィナーレを迎える」

大島市郎(会津若松市)



入選

「観客を魅了する」

大島市郎(会津若松市)



ミニ雪像コンテスト入賞作品を紹介!

雪まつり期間の前後を含め、町民の皆さんにミニ雪像で、雪まつりを盛り上げていただきました。少雪のなか、ご応募いただきありがとうございました。

以下入賞作品をご紹介します。



優秀賞 「キハちゃん」 只見保育所



優秀賞 「干支の龍」 蒲生区



優秀賞 「ひょっこりミッキー」 湯ら里



優秀賞 「車庫の上のキハちゃん」 横山と馬場



優秀賞 「カイリュウ」 齋藤猛



優秀賞 「ドキドキ♡~雪まつりで縁結び~」
吉津明



優秀賞 「バイマックス」
岩佐朱乃・幸

これが只見町の予算です

◆令和6年度只見町予算

令和6年度予算は、第七次只見町振興計画に示した町づくりの理念、基本的施策に基づき、地域の社会経済的な発展を目指し、各種事業へ取り組んでいくための編成となっています。

一般会計の予算規模は59億6,000万円となり、前年度対比2億円、3.5%の増となっています。また、各特別会計の合計額は22億0,790万円となっており、一般会計と合わせた令和6年度予算総額は81億6,790万円です。

◆一般会計 歳入

歳入は、「依存財源」(国や県から入るお金)が65.4%を占め、その中でも地方交付税の割合が最も高く、歳入全体の45.0%を占めています。

また、「自主財源」(町が独自に確保できるお金)では、繰入金(歳入全体の18.0%)で、前年度に比べて2億9,953万円の増額となっています。町税は歳入全体の13.5%で、前年度に比べて1,241万円の減額となっています。

◆一般会計 歳出

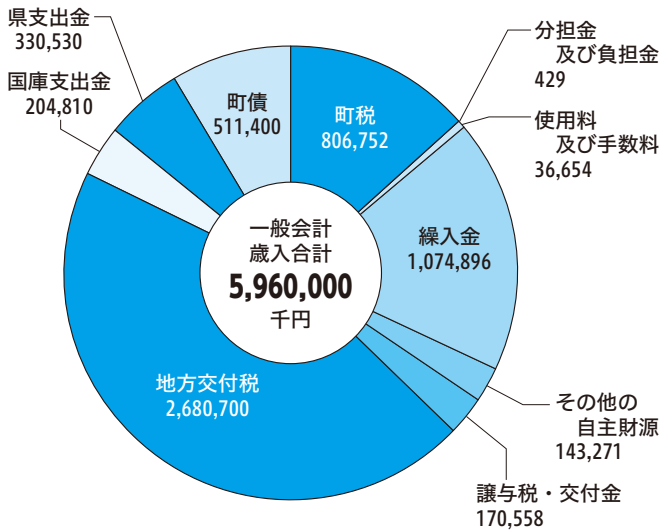
歳出は、民生費の占める割合が最も高く、前年度比0.2ポイント増の15.0%となっています。主に後期高齢者医療、介護保険、児童福祉、障がい者福祉などの安定した社会生活を保障するための経費です。

次に、総務費の占める割合が13.4%となっています。人事、財政、移住交流、企画、情報管理、ユニエスコエパーク、戸籍や統計など、他部門に分類されない事業に要する経費です。

次に、公債費の占める割合が12.4%となっています。これは、町債(町の借金)を返済するための元利償還金(元金と利子)です。

次に、土木費の占める割合が11.1%となっています。主に克雪対策事業、除雪機械車庫の整備、町道改良工事、集会施設の整備などを行うための経費です。続いて、教育費、商工費、農林水産業費、消防費、衛生費、議会費、予備費、災害復旧費、労働費の順になっています。

6,000万円



■町税の内訳

| | |
|-------|-------------|
| 町民税 | 1億5,662万3千円 |
| 固定資産税 | 6億1,537万6千円 |
| 軽自動車税 | 1,493万円7千円 |
| 町たばこ税 | 1,688万0千円 |
| 入湯税 | 293万6千円 |

町民一人あたりにすると(3月1日現在人口 3,804人)

■一般会計支出額(使われるお金の額) …… 1,566,772円

■町税負担額(納めていただくお金の額) …… 212,080円

■歳入

(単位:千円)

| 項目 | 6年度 | 構成比 | 5年度 | 増減率 |
|-------------|------------------|---------------|------------------|-------------|
| 町税 | 806,752 | 13.5% | 819,167 | -1.5% |
| 地方譲与税 | 55,136 | 0.9% | 52,296 | 5.4% |
| 利子割交付金 | 71 | 0.0% | 150 | -52.7% |
| 配当割交付金 | 1,000 | 0.0% | 1,000 | 0.0% |
| 株式等譲渡所得割交付金 | 500 | 0.0% | 1,000 | -50.0% |
| 地方消費税交付金 | 102,000 | 1.7% | 114,000 | -10.5% |
| 自動車取得税交付金 | 1 | 0.0% | 1 | 0.0% |
| 環境性能割交付金 | 3,500 | 0.1% | 3,200 | 9.4% |
| 法人事業税交付金 | 7,000 | 0.1% | 4,600 | 52.2% |
| 地方特例交付金 | 1,100 | 0.0% | 1,100 | 0.0% |
| 地方交付税 | 2,680,700 | 45.0% | 2,681,800 | 0.0% |
| 交通安全対策特別交付金 | 250 | 0.0% | 530 | -52.8% |
| 分担金及び負担金 | 429 | 0.0% | 749 | -42.7% |
| 使用料及び手数料 | 36,654 | 0.6% | 38,114 | -3.8% |
| 国庫支出金 | 204,810 | 3.4% | 177,233 | 15.6% |
| 県支出金 | 330,530 | 5.5% | 253,563 | 30.4% |
| 財産収入 | 21,380 | 0.4% | 17,603 | 21.5% |
| 寄附金 | 28,001 | 0.5% | 28,001 | 0.0% |
| 繰入金 | 1,074,896 | 18.0% | 775,357 | 38.6% |
| 繰越金 | 1 | 0.0% | 1 | 0.0% |
| 諸収入 | 93,889 | 1.6% | 93,135 | 0.8% |
| 町債 | 511,400 | 8.7% | 697,400 | -26.7% |
| 歳入合計 | 5,960,000 | 100.0% | 5,760,000 | 3.5% |

■歳出

(単位:千円)

| 項目 | 6年度 | 構成比 | 5年度 | 増減率 |
|-------------|------------------|---------------|------------------|-------------|
| 議会費 | 73,361 | 1.2% | 72,297 | 1.5% |
| 総務費 | 803,003 | 13.4% | 761,679 | 5.4% |
| 民生費 | 902,591 | 15.0% | 857,407 | 5.3% |
| 衛生費 | 426,260 | 7.2% | 419,133 | 1.7% |
| 労働費 | 3,637 | 0.1% | 3,603 | 0.9% |
| 農林水産業費 | 611,449 | 10.3% | 551,001 | 11.0% |
| 商工費 | 626,637 | 10.5% | 472,605 | 32.6% |
| 土木費 | 658,842 | 11.1% | 731,135 | -9.9% |
| 消防費 | 426,393 | 7.2% | 430,635 | -1.0% |
| 教育費 | 653,056 | 11.0% | 692,513 | -5.7% |
| 災害復旧費 | 13,498 | 0.2% | 13,498 | 0.0% |
| 公債費 | 721,800 | 12.1% | 711,601 | 1.4% |
| 予備費 | 39,473 | 0.7% | 42,893 | -8.0% |
| 歳出合計 | 5,960,000 | 100.0% | 5,760,000 | 3.5% |

令和6年度の主な事業

■自然と共生するまちづくり

- 自然保護意識の醸成
 - 2,441万円 プナセンター関連事業
 - 1,501万円 ユネスコエコパーク推進関連事業
- 雪と共存するまちづくり
 - 7,125万円 スノーステーション整備事業
 - 1,850万円 高齢者等除雪支援事業
 - 1,000万円 大雪対策事業補助金
- 道路網の整備と定住環境の整備
 - 5,253万円 道路補修事業
 - 2,968万円 道路新設改良事業
 - 1,914万円 空家活用対策事業
- 水環境の保全と上下水道の整備
 - 19,394万円 只見統合簡易水道整備事業
 - 2,776万円 集落排水施設整備費

■文化に根づく人づくりと学び続けるまちづくり

- 将来の只見を担う子どもたちの教育の充実
 - 8,641万円 只見高等学校振興対策費
 - 6,752万円 スクールバス運行費
 - 1,476万円 学校給食費負担軽減事業
- 家庭教育力・地域教育力の向上
 - 2,380万円 地域学校協働活動推進事業
- 地域文化の振興（地域で育まれた人の技・物・食の伝承）
 - 4,680万円 ただみ・モノとくらしのミュージアム費
- 生涯スポーツ・レクリエーションの推進
 - 544万円 町スポーツ協会補助金

■住民が主役のまちづくり

- 集落・振興センターでの住民交流を主体とした地域づくり
 - 1,602万円 集舎施設整備事業
 - 1,440万円 地域づくり推進交付金
 - 910万円 集落運営支援交付金
- 新たな視点による地域づくり
 - 1,557万円 移住定住促進事業
- 総合的な土地利用・公共交通体系の確立
 - 4,276万円 地域公共交通運行事業
 - 3,295万円 只見線利用促進事業

■住みやすいまちづくり

- 健康でいきいきと暮らせるまちづくり
 - 613万円 特定健診等事業
- 安心して子どもを産み育てられるまちづくり
 - 2,246万円 認定こども園設置事業
 - 1,326万円 子ども医療費無料化事業
 - 368万円 子宝祝い金事業
 - 222万円 幼児家庭保育支援事業
- 高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくり
 - 130万円 シルバー人材センター推進事業
- 安心して暮らせるまちづくり
 - 1,823万円 消防団機材等整備事業
 - 440万円 消火栓等新設改良事業

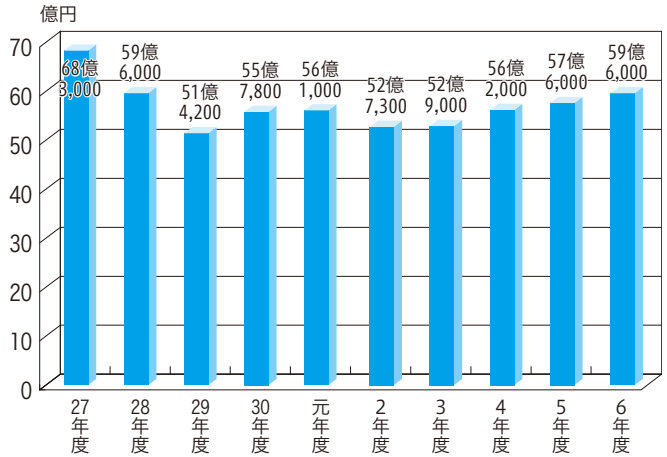
■働きがいのあるまちづくり

- 受け継ぎす、プライド農業の実践
 - 4,829万円 農業振興費
 - 1,144万円 鳥獣被害対策事業
- 豊かな森林を活かした林業の振興
 - 1,911万円 林業振興費
 - 1,655万円 薪ボイラー導入推進事業
- 活力と賑わいそして持続ある商工業の確立
 - 2,620万円 プレミアム商品券発行事業
- 地域経済の発展を担う魅力ある観光の推進
 - 11,392万円 観光、交流施設指定管理料
 - 6,300万円 只見駅前複合施設整備事業
 - 2,000万円 雪まつり実行委員会補助金
 - 2,431万円 インフォメーションセンター運営事業
- 産業間連携による地域経済の発展
 - 1,100万円 特定地域づくり事業協同組合補助金

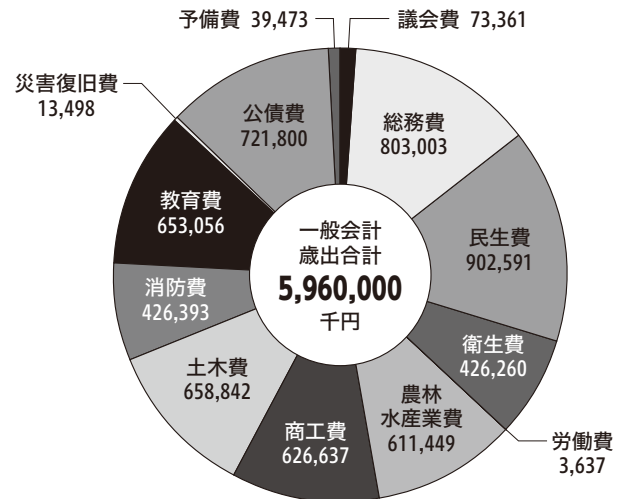
お金はどこから来て、どこへ行くの？

■一般会計当初予算額の推移

(単位：万円)



一般会計 予算総額 59億



■特別会計予算

(単位：千円)

| 会計区分 | 6年度 | 5年度 | 増減率 |
|------------------------------|------------------|------------------|---------------|
| 国民健康保険事業特別会計 | 467,000 | 470,000 | -0.6% |
| 国民健康保険施設特別会計 | 464,000 | 437,000 | 6.2% |
| 後期高齢者医療特別会計 | 159,000 | 151,000 | 5.3% |
| 介護保険事業特別会計 | 783,000 | 766,000 | 2.2% |
| 介護老人保健施設特別会計 | 319,000 | 309,000 | 3.2% |
| 地域包括支援センター特別会計 ^{※1} | 0 | 8,500 | -100.0% |
| 簡易水道特別会計 ^{※2} | 0 | 279,000 | -100.0% |
| 集落排水事業特別会計 ^{※3} | 0 | 370,000 | -100.0% |
| 朝日財産区特別会計 | 15,900 | 16,400 | -3.0% |
| 合計 | 2,207,900 | 2,806,900 | -21.3% |

※1は介護保険事業特別会計へ統合、※2、※3は事業会計へ移行したため廃止

新たな町民の代表12人が決まる 只見町議会議員一般選挙結果

任期満了に伴う只見町議会議員一般選挙は、定数12人に対し、現職8人、元職1人、新人3人が立候補し、計12人の無投票当選が決まりました。町議会議員選挙が無投票となったのは、28年ぶりとなります。

当選証書付与式は、3月24日に役場町下庁舎で行われ、町選挙管理委員会の舟木和一委員長から当選者一人一人に当選証書が手渡されました。任期は令和6年4月20日から4年間で。



▲証書を受け取る当選者



佐藤 孝義(73)
当選回数 5 回



矢沢 明伸(69)
当選回数 2 回



酒井 右一(74)
当選回数 5 回



中野 大徳(65)
当選回数 5 回



山岸 国夫(77)
当選回数 3 回



小沼 信孝(64)
当選回数 3 回



菅家 忠(43)
当選回数 2 回



鈴木 好行(67)
当選回数 3 回



齋藤 猛(67)
当選回数 1 回



角田 誠(45)
当選回数 1 回



目黒 道人(50)
当選回数 2 回



平山 真恵美(52)
当選回数 1 回

※届出順に掲載しております。

人生100年時代のために 介護予防講演会開催

人生100年時代のために

介護予防講演会「転倒骨折予防の秘訣」ロコモティブシンドロームの予防」が2月23日に行われ、町民約60人が参加しました。

講師を務めた大谷晃司氏は、自分でできるロコモ予防として、丈夫な骨を維持するための食生活、体重をコントロールすること等の大切さを参加者に伝えました。

また、転倒予防には楽しく継続した運動も重要と話し、椅子に座ってできる太もも上げ、片足立ち、つぎ足歩行、背中伸ばしを紹介しました。

※ロコモティブシンドローム(ロコモ)

…運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態



▲講師を務めた県立医科大学医療人育成・支援センター長の大谷晃司主任教授

笑うことの重要性を学ぶ 講話「笑う門には福来る」開催

笑うことの重要性を学ぶ

地域コミュニティの活性化のために、講話「笑う門には福来る」T・S笑法のススメ」が3月16日に只見公民館で開かれました。

講師は、会津大学名誉教授の程子^が氏が務め、笑いの体操や失敗談を笑い飛ばすことなどを行い、和やかな雰囲気の話となりました。

程氏は、「笑いのスイッチは、心配事を減らしてくれます。負の出来事があっても『次に進もう。大丈夫。』と前向きに変えてくれます」と話し、笑う事の重要性を参加者に伝えました。



▲「一人ひとりをもっと笑えるよう願っています」と締めくくる程氏

災害などから国民を守る人財に 「自衛隊入隊者激励会」開催

災害などから国民を守る人財に

令和6年度の自衛隊入隊者を対象とした「自衛隊入隊者激励会」が3月18日に行われ、今年3月に只見高校を卒業し、3月25日から着隊する酒井怜斗^{れんと}さんが出席しました。

激励会では、渡部町長と自衛隊福島地方協力本部の栗木茂幸本部長から激励の言葉が送られた他、防衛大臣がビデオレターで激励のメッセージを届けました。また、自衛官募集相談員の中野大徳さんから激励品が手渡されました。

激励を受けた酒井さんは、「部活動や学校生活で培ったものを生かし、励みたいです」と意気込みを話しました。



▲激励を受けた酒井怜斗さん(中央)

只見町が只見町の課題を考える 「大学生サミットin南会津」開催

只見町が只見町の課題を考える

人口減少や少子高齢化、交流人口の減少が課題となっている南会津地域の地域活性化を図ることを目的とした「大学生サミットin南会津」が、3月18日に開催されました。このイベントは、森林の分校ふざわが主催で、地方創生総合支援事業を活用し、実施されました。

第一部では、大学生が、人口減少が進む地域の課題と実際の取り組みなどの報告が行われ、只見ふるさと大使の高村帆香さんは只見スタンドについて発表しました。

第二部では、南会津地域と学生団体が持続可能な関わり方をしていくことを踏まえつつ、地域課題を解決するためのグループワークが行われました。



▲全国各地の学生団体が只見町に集まり、意見交換などを行いました

地域の伝統を传承していく

明和小学校「伝統芸能発表会」開催

明和小学校は、2月22日に「伝統芸能発表会」を開催し、1年生から4年生の児童が、保護者や地域の方など約70人に伝統芸能を披露しました。

発表会は、4年生による「梁取神楽」から始まり、続いて1、2年生が「大倉八木節」を舞い、最後に3年生が「小林早乙女踊り」を披露し、その一生懸命な姿に参観者から拍手が送られました。

「伝統芸能発表会」は、ESDの一環として取り組まれており、地元の保存会の方にご協力をいただきながら、実施されています。



▲4年生による梁取神楽

雪国只見町を熱くする

「ただみスノースポーツフェスティバル」開催



▲開会式後にゲストアスリートの皆さんと記念撮影

NPO法人ただみコミュニティクラブの主催で「ただみスノースポーツフェスティバル2024」が、3月3日に亀岡サンドバレーコートで行われました。

ゲストアスリートには、大山未希氏、井野亜季子氏、永井雄太氏、佐々木翼氏、森重瑞紀氏が招かれ、参加者に指導を行うだけでなく、一緒に競技に参加し、会場は大盛り上がりでした。

参加者は「雪の上の上は、体が動かしにくかったり、ボールが予想外の動きをするのですが、そこが凄く楽しいです」と話し、冬晴れの中でスポーツを楽しみました。

みんなでひなまつりを楽しみました

かるがもクラブ「ひなまつり」

令和5年度最後のかるがもクラブが3月1日に行われ、7組の親子が参加しました。

始めに遊びをとおして親子の触れ合いを楽しんだ後、会場に紙で作った花を飾り付けたりし、ひなまつりを楽しみました。

来年度もかるがもクラブは継続いたします。開催日時等については、おしらせばんでご案内します。対象は未就学児の皆さんとその保護者で、参加は自由なのでお気軽にお越しください。



▲手作りの扇子をもって記念撮影

たくさんの方にご来場いただきました

各地区で公民館まつりなどが開かれました

「朝日のいいもの集めちゃった市」(朝日公民館)は3月3日、「只見公民館まつり」(只見公民館)と「明和公民館まつり」は3月10日に開かれ、地元地区の方をはじめとする多くの方が来場しました。

各会場では、地元団体が製作したつる細工などの伝統工芸品や小中学生の成果物など、多くの作品が展示された他、伝統芸能発表や空手の演舞、踊りなどが披露されました。また、地区ごとにそばやカレーなどの販売も行われ、一日中賑わいました。



▲染め物教室や陶芸教室など冬期講座の作品も展示されました(朝日)



▲神居塾只見同好会は演舞や試割りを披露しました(只見)



▲抹茶コーナーでは、点てたお茶を堪能しました(明和)

希少な生き物と共存していく

セミナー「ワシやタカとともに生きる」開催

希少猛禽類との共生をテーマに、横山隆一氏(公益財団法人日本自然保護協会参与)、松井睦子氏(AKAYAプロジェクト地域協議会)を講師に招き、ユネスコエコパーク特別セミナー「ワシやタカとともに生きる」が3月20日に開催されました。

横山氏は、猛禽類は神様や妖怪のモデルとして昔から身近なものであったことを紹介された他、自然の豊かさの変化を知るメーターの役割を持つイヌワシの生態について、狩り場が必要であり、落ち着いて暮らせる静かな環境の創出が大切であるという保全上の課題を解説されました。

松井氏は、イヌワシやクマタカの保全の先進地である「みなかみユネスコエコパーク」の「AKAYAプロジェクト」について紹介され、様々なワーキンググループによって赤谷地区の持続的な地域づくりの取組を進められていることや、30年以上続いているイヌワシの繁殖状況調査及び狩場創出のための伐採試験地の導入など先進的な取り組みを紹介しました。



▲町内外から30人を超える参加者が来場し、関心の高さがうかがえました。



▲町内に生息するクマタカ

地域おこし協力隊として Vol.112

只見町教育振興協力隊 向坂 雄一郎



私が「地域おこし協力隊」として、この只見町にやってきて3年がたち、この3月31日で任期が終了いたします。この3年間、町教育委員会の一員として主に「只見町山村教育留学生」をはじめとした「只見高校生」に関わる教育振興に携わって参りました。私事で恐縮ではありますが、自分の息子が「只見町山村教育留学第17期生」としてこの町にお世話になり、様々な皆さまとの関わりから大きく成長させていただいたこと（※当家比）にたいへん感謝しております。また私たち夫婦も、只見町にてそれぞれ「地域おこし協力隊」、「教育支援員」として勤務させていただき、町の皆さまとさまざまな関わりを持てたことは貴重な人生の財産であると感じています。任期終了後は、また別の形で地域の皆さまとともに歩んで参ります。3年間、本当にありがとうございました。そして今後どうぞよろしく願いいたします。

今月の用語解説

「ESD」(P10「明和小学校『伝統芸能発表会』開催」下から3行目)

「ESD」とは、^{エデュケーション}「Education for Sustainable Development」(持続可能な開発のための教育)の略です。視野を広げ、規模の大きな課題を自らの問題として捉え、自分にできることを考え、課題解決につながる価値観や行動を生み出し、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育のことです。

只見町の小中学校では、地域の自然や文化に触れる「只見学」を学ぶことを通し、ふるさとを愛し、誇りに思う心を育て、只見町の豊かな存続に寄与できる子どもたちを育てています。



※今月の広報ただみ診療所は、休載いたします。

広報ただみスナップ

広報ただみスナップでは、紙面や記事掲載の都合上、掲載しきれなかった写真を掲載いたします。ご家族やご親戚の皆さんでお写真をお楽しみください。

▶令和5年度只見高校を卒業した山村教育留学生の皆さん、只見町の経験を生かして新天地でも頑張ってください！



▶只見高校の卒業式の後に行われた「只見高校プチ卒業旅行」にはキハちゃんもきてくれました



▶明和小学校の伝統芸能発表会では、1、2年生が大倉八木節を披露しました



▶3年生は小林早乙女を披露しました



▶スノースポーツフェスティバルで行われた雪上フットサルで、参加者が華麗なボールさばきを魅せました



▶雪上バレーではチームワークの良さも勝利のカギとなりました



▶朝日のいいもの集めちやっただ市で開かれた民話茶屋も大盛況でした



▶只見公民館まつりで行われたスクウェアダンスにも多くの方が参加しました



▶明和保育所の子どもたちが明和公民館まつりで踊りを披露してくれました



※なお、広報ただみスナップは不定期掲載となります。



町民文芸

只見短歌会 令和六年三月詠草

また一人友逝くと聞く雨の朝さびしき暮る一人居の我は
馬場 八智

亡き友の生前言ひし励ましの言葉時折浮かびてくるも
関谷登美子

昨夜^{よべ}出向き診察終へて戻る道早も除雪車と数多行き交ふ
目黒 富子

息子^こが遊び散らかるおもちや怪獣が通った後の街並みのごと
立花 奏音

出窓より見ゆる柴倉山の四季をりを亡き母幾度眺めをりしか
新国由紀子

朝ドラに夢中になりて朝食もそこそこ箸を休め見入るも
渡部ヨリ子

(出詠順)

只見俳句会 三月定例会

集団就職のホーム名残り雪
期待と不安を胸に卒業す
信

白壁の倉の鍵穴寒明ける
酒蔵の煙届くや冬雲に
都

古雛や今は納戸に収まりて
春の雪光うつして屋根つたう
味代子

子等あそぶ雪山ヤマタノオロチのごと
紺碧の空映したる春の川
一 恵

若い衆の舞うステージや雪も舞い
空揚げの岩魚の旨し雪まつり
真理子

風花に霧昇り行く散歩かな
只見川鉄道写真の冬景色
睦子

日高俊平太 指導

悼 渡部幸生さん
横山嶺の上にまたたく春の星
雛軸をさげて老妻一人かな
恒 夫

折り紙の竜折り上がる年始め
降る雪や間々行き交う鳥のかけ
礼

一枚の羽毛に体春おぼろ
薄明かり尿意の我慢朝かな
一 穂

冬道を左右確認猫二匹
目を閉じて冬日の温み独り占め
修 一



今月のお知らせ

人事

只見町新規職員

●退職など（3月31日付）

▽中央公民館
馬場 一義

▽保健福祉課
横山 智美
(福島県派遣職員)

●新規職員（4月1日付）

▽中央公民館
飯塚 拓巳

▽交流推進課
観光係
三瓶 晃一



▽総務企画課 総務係

沼田 悠希

▽保健福祉課

保健係
相樂 和枝

▽朝日診療所

医局
鈴木 唯

●任期付職員（4月1日付）

▽農林建設課
建設係
芹田 航



電話番号

| | | |
|--------------------|-------|----------|
| 総務企画課 | 財政係 | ☎82-5210 |
| 総務係 | 企画係 | |
| 町民生活課 | | |
| 町民税務係 | | ☎82-5110 |
| 生活安全係 | | ☎82-5100 |
| 保健福祉課 | | |
| 保健係 | | ☎84-7005 |
| 福祉係 | | |
| 成年後見制度利用促進室 | | ☎84-7010 |
| 農林建設課 | | |
| 農林係 | | ☎82-5230 |
| 建設係 | | ☎82-5270 |
| 交流推進課 | | |
| 観光係 | 商工労働係 | ☎82-5240 |
| 移住交流係 | | |
| 新エネルギー推進室 | | ☎82-5220 |
| ユネスコエコパーク推進係 | | |
| (ただみ・ブナと川のミュージアム内) | | ☎82-5963 |
| 会計室 | | ☎82-5120 |
| 議会事務局 | | ☎82-5300 |
| 農業委員会 | | ☎82-5230 |
| 教育委員会 | | ☎82-5320 |
| 学校給食センター | | ☎84-7180 |
| 只見保育所 | | ☎82-2219 |
| 朝日保育所 | | ☎84-2038 |
| 明和保育所 | | ☎86-2249 |
| 朝日診療所 | | ☎84-2221 |
| (歯科) | | ☎84-2612 |
| こぶし苑 | | ☎84-2101 |
| 只見公民館 | | ☎82-2141 |
| 朝日公民館 | | ☎84-2111 |
| 明和公民館 | | ☎86-2111 |

お知らせ

多重債務・貸金業に関する相談窓口のお知らせ

財務省福島事務所では、借金でお悩みの方々からの相談に応じています。借金の状況をお聞きし、必要に応じ弁護士・司法書士などの専門家に引継ぎを行います。相談は秘密厳守、無料です。お気軽にご相談ください。

また、国や県の登録を受けずに貸金業者の登録状況に関する問い合わせや不正に利用されている預貯金口座に関する相談も受け付けています。

【相談窓口】

福島市花園町5-146
福島第二地方合同庁舎5階
福島財務事務所 理財課

【受付時間】

月曜日から金曜日
(祝日、年末年始を除く)
8時30分から12時00分、
13時00分から16時30分まで

【電話受付】(相談窓口専用)
☎024-1533-10064

相続した登記されていない建物の登記について

亡くなったご家族や親戚が建てた建物が登記されていない場合の手続きについては、福島県土地家屋調査士会にご連絡いただくか、又はホームページ (<https://ksmaty.or.jp/>) からお近くの土地家屋調査士を探すなどし、その土地家屋調査士にご相談ください。相続を証明する書類、遺言書や遺産分割協議書等、亡

税 今月の納期

4月25日までに
納めましょう

- 固定資産税(1期分)
- 農集排使用料(4月分)



くなられた方が建物の所有者であったことの証明が必要になります。

建物図面、各階平面図を作成し、建物表題登記を法務局に申請します。

【問合せ先】

- ・ 福島県土地家屋調査士会
☎024-1534-7829
- ・ 福島地方事務局
☎024-1534-2045





広報ただみ町長室

只見町長 渡部 勇夫

◆いよいよ令和6年度がスタートしました。

町役場でも6名の新採用職員を迎え、辞令交付式を行いました。

その後、町内3保育所、3小学校、只見中学校及び只見高校の入学（入所）式が挙行され、希望に満ちた新学期（新年度）がスタートしました。改めて、健やかな成長と輝かしい将来を祈念いたします。

一方で今の只見町に目を向けるとき、依然として人口減少は続き、少子化は進行しております。

全国的な傾向とは言え、大変厳しい状況だと認識しております。

特に15歳〜65歳未満のいわゆる生産年齢人口の減少が著しい実態です。国では全産業にわたる担い手不足を補うために、働き方改革を推進する法律を施行しました。

これは医療や介護、建設業をはじめ地域の基盤を支えていただいている業者にも適用されます。

町では新年度から「医療・介護・福祉あり方検討会」を発足させるとともに、10年後の地域の農業のあり方を地域や関係者で話し合っその目標を定めていただくための「地域計画の策定」に取り組んでまいります。

また、近悦遠来（論語の一説で、近い人が喜ばば、遠い人も慕い集まるといふ意味）の考え方をもち只見駅前賑わい創出事業にも取り組んでまいります。

昨年、南郷トマト生産組合は、売上12億円の素晴らしい実績をあげ

られました。

今年度も只見町の基幹産業である米、南郷トマト、花きなどの農業生産基盤整備や環境整備に取り組んでまいります。

そして、県立只見高校の「グローバルリーダー」教育が只見町の将来のためにご努力いただいているということを知っていただくとともに、期待をもって応援していただきたいと思っております。

1日は、町役場の辞令交付式でかつ只見高校の山村教育留學生であった新採用職員に辞令を交付いたしました。

町の職員としては3人目ですが、町の職場全体では4人目です。

只見高校の山村教育留學制度による好循環が生まれつつあります。

かつて町長就任間もない頃、当時の小学5年生が町役場を訪ねてくれて、「私たちはバックキャストインダ（最初に目標とする未来像を描き、次にその未来像を実現するための道筋を未来から現在へと遡って考えること）」という考え方で学習しています。雪がいつぱい降ることや、人口が少ないことなどの現状から考えるのではなく、みんなで目標を持つて取り組むことが大切だと思っております。」とプレゼンテーションしてくれました。

新年度のスタートに当たって改めてこの言葉を大切にして取り組んでまいります。

町長スケジュール 〈3月分〉

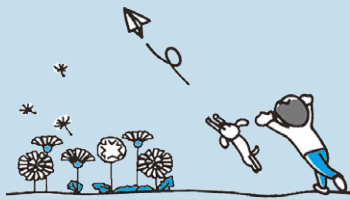
- | | | | |
|-----|---|-----|---|
| 1日 | 只見高校卒業証書授与式、只見高校卒業生の只見線プチ卒業旅行 記念品贈呈 | 19日 | 只見駐在所・明和駐在所来庁、(株)会津ただみ振興公社取締役会、雪まつりフォトコンテスト・ミニ雪像コンテスト審査会 |
| 3日 | ただみスノースポーツフェスティバル、朝日のいいもの集めちゃった市 | 21日 | 福島県知事との意見交換 |
| 5日 | 只見町議会3月会議（～14日） | 22日 | 明和小学校卒業証書授与式、南会津地方振興局長他来庁 |
| 10日 | 明和公民館まつり | 26日 | 社会福祉法人南会津会理事会（南会津町）、只見町土地改良区理事会・同総代会 |
| 13日 | 只見中学校卒業証書授与式 | 28日 | 会津鉄道(株)取締役会（会津若松市）、南会津建設事務所長他来庁、(株)リンクプラン来庁、南会津地方町村連絡会議懇談会（南会津町） |
| 14日 | 福島民報社南会津支局長来庁、臨時庁議 | 29日 | 町職員辞令交付式・離任式、(株)会津ただみ振興公社臨時株主総会、東北電力ネットワーク(株)田島電力センター所長来庁、南会津警察署長来庁 |
| 15日 | アルソック福島(株)会津若松支社顧問来庁、電源開発(株)田子倉電力所長来庁 | | |
| 16日 | 地域づくり講演会 | | |
| 17日 | 地域福祉を考える集い（昭和村） | | |
| 18日 | (株)季の郷湯ら里定期取締役会、自衛隊入隊予定者激励会、南会津警察署長来庁、大学生サミットイン南会津エリア | | |

町民の消息

(2月26日～3月25日届出分)敬称略

■おくやみ申し上げます

| | | | |
|----|-----|-----|----|
| 渡部 | ハルエ | 92歳 | 小川 |
| 梁取 | イ子 | 92歳 | 坂田 |
| 小林 | タケ子 | 94歳 | 布沢 |
| 菅家 | 繁子 | 96歳 | 長浜 |
| 皆川 | 幸喜 | 84歳 | 只見 |
| 渡部 | 幸生 | 90歳 | 樋戸 |



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和6年3月1日現在

| | | |
|------|---|-------------|
| 人 | 口 | 3,653 (-16) |
| 男 | | 1,805 (-11) |
| 女 | | 1,848 (-5) |
| 世帯数 | | 1,551 (-6) |
| 高齢化率 | | 48.8% |

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 5 転出 9 出生 2 死亡 14

▽ご卒業された皆さん、おめでとうございます。新たなステージは楽しいことも嬉しいことも沢山あると思います。反対に辛いことや困難なことにぶつかることもあるかと思えます。そんなときは、友達や家族のことを思い出して、一歩ずつでもいいので頑張ってください。

▽昨年度は多くの方にご協力いただきました。ありがとうございました。ご協力いただき、ありがとうございました。令和6年度も広報担当となりましたので、引き続きよろしくお願いいたします。

(小林)

あとがき

只見公民館 図書紹介

只見公民館図書室
☎82-2141

おすすめ新着図書

★ブラック・ショーマンと覚醒する女たち

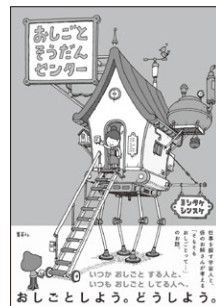


【著】東野 圭吾 (光文社)

亡き夫から莫大な遺産を相続した女性の前に絶縁したはずの兄が現れ、「あんたは偽者だ」といいます。女性は一笑に付すが、一部始終を聞いていた元マジシャンのマスターは驚くべき謎解きを披露する。果たして嘘をついているのはどちらなのか——。謎に包まれたバー『トラップハンド』のマスターと、彼の華麗なる魔術によって変貌を遂げていく女性たちの物語。

★おしごとそうだんセンター

【著】ヨシタケシンスケ (集英社)



「しごと」ってなんだろう？

地球に不時着した宇宙人がやってきたのは、ちょっと風変わりな職業相談所。

宇宙人は相談所のスタッフと一緒に、この星で生きていくこと、働くことの意味について考えはじめる。

誰もが避けて通れない「仕事」の意味を問い直し、明日をちょっと明るくする、

すべての子どもと大人のためのヨシタケシンスケ版“ハローワーク”ストーリー！

○只見公民館ではリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。

町民憲章

- ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう



(写真・文 太田祥作)

アズマシロカネソウ (学名: *Dichocarpum nipponicum*)

【キンポウゲ科】



アズマシロカネソウは、春の只見町の沢筋に見られるキンポウゲ科の多年草です。秋田県から福井県にかけての本州日本海側にだけ分布しています。高さは10～20cmほどで、春に1cmほどの可憐な花を咲かせます。花弁のように見えるのがく片で、薄黄色に一部紫色が混ざり、美しいアクセントになっています。小さな花弁はく片の内側にあって、黄色く厚みがあります。葉は丸みを帯び、セリの切れ込みを浅くしたような独特の形で、株の上の方から互い違いに展開しています。生息地では写真のように群生するのも特徴です。

福島県内における分布は会津地方に限られ、県の最新のレッドリストにおいて準絶滅危惧に選定されています。只見町では今のところ蒲生、叶津、小川、小林で確認されており、林の中の湿った岩場や斜面、沢筋を好んで生育します。例年5月上～中旬に花の見ごろを迎えるものの、この冬の暖冬・少雪の影響で、4月末には開花が始まる場所もあると予想されます。花期は短いですが、只見町の沢筋に春を告げる可憐な花としてアズマシロカネソウの認知が広まれば幸いです。

只見町ブナセンターからのお知らせ

4月は下記イベントを開催/企画しております。

詳細は只見町ブナセンター(電話0241-72-8355)までお問い合わせください。

企画展アーカイブ・プラス「只見の自然を食べる！」

会期：2023年12月2日(土)～2024年4月21日(日)

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

自然観察会「野生植物の花観察会」

集合日時・場所：2024年4月27日(土) 13:00 季の郷湯ら里 駐車場

自然観察会「ブナ林の新緑観察会」

集合日時・場所：2024年4月28日(日) 9:00 癒しの森 駐車場